

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

総合臨床実習を修了し、半年後の臨床を見据えた段階での本講義開設であることから、それまでの学内学習や臨床実習の成果に基づいて理学療法の管理および運営に必要なマネジメント全般を学ぶ。そのため、形態としては講義をベースにグループ討論やプレゼンテーションなどを予定しており、積極的に参加する姿勢が求められる。

《担当者名》泉唯史

【概要】

病院・施設の中で理学療法部門はそれが単独で機能することはなく、全体の管理運営の中に組み込まれている。それは必然的に職種の異なる医療従事者の部署同士の関係を、全体の枠組みの中でとらえていく必要があることを意味する。医療行政と保険制度、病診連携とそこでのチーム医療、理学療法部門の位置づけと役割、院内感染対策、診療記録や他の記録の意義と運用、環境整備や事故対応策などについて考察しながら、臨床現場における理学療法を効果的に実施するためのマネジメントを学習する。

【学習目標】

I 一般目標

医療機関における理学療法部門の位置づけとチーム医療における役割を理解するために、それらが管理運営において包括的に機能していかなければならないことを理解する。

また安全で質の高い医療を提供するために、院内感染対策における手技について説明し、さらに診療記録作成の構成を理解して自ら論理的な診療記録を作成することができるようになる。

臨床現場における理学療法の包括的なマネジメントについて、これまでの学習内容に基づいて系統的に説明することができる。

行動目標

1. 医療機関における理学療法部門の位置づけとチーム医療における役割を説明できる。
2. 院内感染対策の現状における手技および今後の課題について説明し、意見を述べるができる。
3. 診療記録の構成を説明し、自ら論理的な診療記録を作成することができる。
4. 理学療法部門を安全かつ効率的に運用するための環境整備と事故対応策について説明できる。
5. 臨床現場における理学療法のマネジメントについて、これまでの学習内容に基づいて説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 医療機関の組織と理学療法	医療機関の区分と組織、その中でのリハビリテーションおよび理学療法の役割	泉唯史
2	院内感染対策と理学療法	・医療機関における院内感染 ・院内感染対策の現状 ・感染防止における理学療法士の役割	泉唯史
3	診療記録の構成(1)	・診療記録の目的と役割 ・診療記録の構成	泉唯史
4	診療記録の構成(2)	・POMRの実際 ・診療記録の監査	泉唯史
5	理学療法部門の管理・運営論(1)	連携病院におけるセンターとしてのリハビリテーション機能の役割と管理・運営	泉唯史 小島伸枝(特別講師)
6	理学療法部門の管理・運営論(2)	・多職種との連携およびリハビリテーション部門の運用 ・教育と管理 ・環境整備のための視点 ・安全管理	泉唯史 山下康次(特別講師)
7	理学療法部門の管理・運営論(3)	・地域における医療機関の役割と課題 ・社会のニーズと制度との間にある医療機関の今後の求められる方向性と理学療法部門の役割	泉唯史 菅原美和(特別講師)
8	理学療法と紛争 まとめ	・理学療法にまつわる係争案件の事例検討 ・理学療法部門の管理・運営とチームワークコミュニケーション	泉唯史

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		・まとめ	

【評価方法】

授業およびグループワークにおける積極的な取り組みおよびプレゼンテーション 50%
リアクションペーパーおよびレポート 50%

【備考】

教科書 : 教科書は使用しない。
講義の進行に沿ってその都度プリントを配布する。

参考書 : 特になし。

【学習の準備】

- ・事前に調査あるいは情報収集を行う必要が見込まれる。
- ・一年次より行ってきた臨床実習での学修内容を系統的に整理しておくことが重要である。
 1. 臨床実習を行ってきた病院の組織とその特徴について (30分)
 2. 病院全体で取り組んでいる院内感染予防策および理学療法部門の感染予防策について (60分)
 3. 病院全体での、あるいは理学療法部門での事故予防策および対応策について (60分)
 4. 臨床実習を通して学んだ診療記録の方法と課題について (60分)

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP2) 近代医療は“チーム医療”がとても重要です。医師をはじめ各医療職の専門性はますます進化していきますが、それぞれが協力・協働して有効に機能していくものですので、今後さらに“チーム医療力”が病院・施設などの“臨床力”として特に重要になります。自分の職種と他の職種のそれぞれの役割と専門性をきちんと理解し、患者と家族をチーム医療力でしっかりとサポートできる能力を身につけます。

【実務経験】

泉唯史 小島伸枝 山下康次 菅原美和 (理学療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

急性期循環器病院におけるリスク管理と病院組織のあり方、都市型リハビリテーション病院における理学療法士の役割、急性期病院における多職種連携のあり方、大規模病院でありながら地域医療を指向する理念と実践などについて、各教員の実務経験を基盤に置いた講義を行います。